

株主通信 (第57期)

2018年4月1日~2019年3月31日

株式会社 スパンクリートコーポレーション
SPANCRETE
CORPORATION

証券コード 5277



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社は2016年6月の新経営体制移行後、コスト削減に取り組んだ結果、需要の回復も手伝い、2017年3月に黒字転換を、2018年3月に復配を果たしてまいりました。
2019年3月期は、販売では、オリンピック・パラリンピック関連住宅物件や大型駐車場の新規受注で販売数量が大幅に増え、そのうえ、既契約分に関して粘り強く値上げを図りつつ、物流の確保に積極的にワークしました。製造では、生産量の増減に柔軟に対応し、操業コストの低減化を図りました。このような製造・販売面の不断の尽力が実り、3年連続の増収増益を果たし、昨年の秋に発表した中期経営計画の2019年3月期の利益目標を達成しました。今後も中期経営計画を着実に実行し企業価値の向上にむけ全社一体となり尽力してまいります。
株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年5月

代表取締役社長 浮田 聡

事業の概況

■事業の概況／売上高・損益状況 (2019年3月期)

建設業界における市場環境は、東京オリンピック関連工事が本格化するものの、資材価格・エネルギーコスト・輸送価格が高騰し、労働者不足等による労務単価の上昇する経営環境が続いています。このような状況下で当社の業績は、スパンクリート事業は、過去の販売低迷期に受注した物件の取引が増加したこと、資材価格、エネルギーコスト、輸送価格の高騰や労務単価の上昇があったものの、生産効率や採算性の改善および新規に受注した大型駐車場の貢献もあり増収増益となりました。不動産事業が、賃貸しています岩瀬工場の排水設備の改修費用を計上したため減益となりましたが、将来の収益性改善による税効果54百万円を計上したことにより、売上高4,207百万円（前期比23.9%増）、営業利益239百万円（前期比0.0%減）、経常利益260百万円（前期比0.3%増）、当期純利益279百万円（前期比35.5%増）となりました。

■事業部門別業績 (2019年3月期)

<スパンクリート事業>

スパンクリート事業は、東京オリンピック関連施設向けの量産と新規に受注した大型駐車場案件により売上数量が前期比44.1%増加し、売上高は3,895百万円（前期比26.2%増）と増収となりました。利益面に関しましては、諸コストが高騰するなか生産効率や採算性の改善で営業利益119百万円（前期比46.6%増）となりました。

<不動産事業>

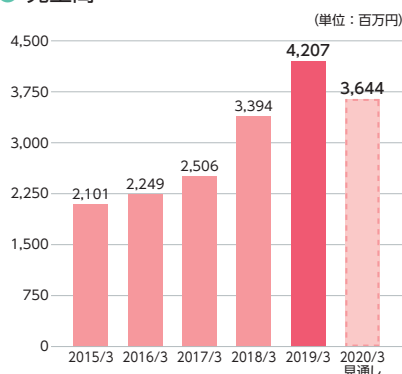
不動産事業は、オフィスビル4棟の賃料収入が安定収益源となっており、売上高は311百万円（前期比1.0%増）となりましたが、賃貸しています岩瀬工場の排水設備の改修費用を計上したため、営業利益119百万円（前期比24.3%減）となりました。

■2020年3月期業績見通し

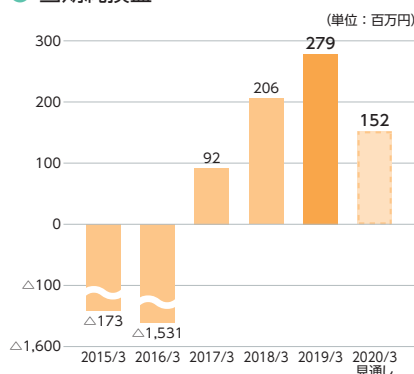
2020年3月期は、オリンピック・パラリンピック関連の諸工事が完了することと、新幹線防音壁や高層マンション向け床材の大半が翌期以降となるため出荷量が減少し、引き続き諸コストが高騰することから、売上高3,644百万円（前期比13.4%減）、営業利益160百万円（前期比33.2%減）、経常利益180百万円（前期比31.0%減）、当期純利益152百万円（前期比45.6%減）を予想しております。

財務ハイライト

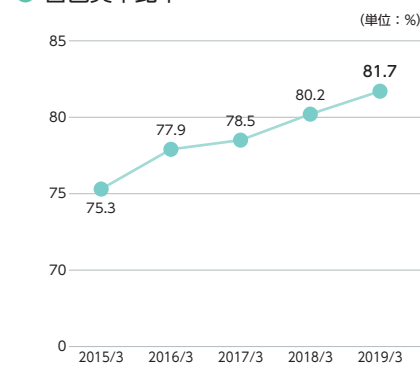
● 売上高



● 当期純損益



● 自己資本比率



中期（5年）計画 進捗報告

*冷凍倉庫（外壁・合成床）

*は第57期使用実績

当社は、昨年11月に第57期（2019年3月期）から第61期（2023年3月期）までの中期（5年）計画「SPC plus ONE 2022【スパンクリート事業基盤の強化と新たな収益基盤の創出】」を策定し、2020年のオリンピック・パラリンピック後を見据えた利益体制確立のため経営目標を定めました。経営目標達成による当社の付加価値向上に向けて、次に掲げる「重点課題」に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【重点課題】

1. スパンクリート事業の基盤強化
2. 新たな収益基盤の創出
3. 人材育成・情報化への対応
4. 不動産事業の収益維持

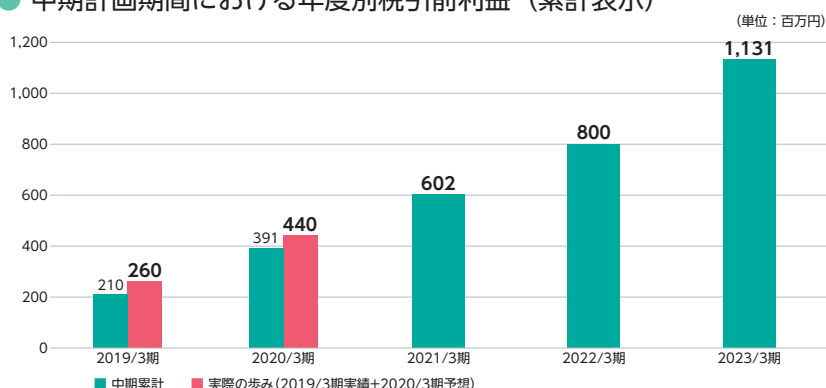
《経営目標（2023年3月期）》

項目	経営目標	2023年3月期	2019年3月期
税引前利益	5年間合計 11.3億円 (税後利益9.5億円)	279百万円	260百万円
自己資本比率	76%	76%	82%
配当額	5年間合計 3.2億円 (配当性向34%)	10円/株	10円/株 (配当性向27.7%)
ROE（自己資本利益率）	4%	4%	4.2%



*オフィスビル（床）

● 中期計画期間における年度別税引前利益（累計表示）



*陸上競技場（合成床）



当社ホームページ

<http://www.spancretecorp.com/>

最新のIR情報につきましては、当社のホームページ「IR情報」をご参照ください。

「財務情報」
検索はこちらから▼

スパンクリート IR 検索



「中期（5年）経営計画 SPC plus ONE 2022」の詳細については当社ホームページ <http://www.spancretecorp.com/>に掲載しております。是非ともご参照ください。